

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所いっすんぼうし(保育所等訪問支援)			
○保護者評価実施期間	令和8年3月4日		～	令和8年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	利用児保護者	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 8日		～	令和8年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年3月5日		～	令和8年3月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2件	(回答数)	2件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○子どもの観察。 ○自由遊びの中で職員が積極的に介入し子ども同士のやり取りが上手く成立するように支援していく事。	○個人が特定されないよう気を付けている。	○知識を増やし、分かりやすい説明をする。 加配にならないようにするために考える。
2		○訪問先の先生方の邪魔にならないようにしている。 支援の共有の時間がないときは後日に設定する。	
3	○子どもの動きを予測し、問題が怒る前に対応している。 ○子どもの動きを信じ、見守り、余計な一言が出ないよう注意している。		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○スキルが求められたとき自信がない。	○継続されているか？保護者でなく訪問先の都合で訪問できていないのではありませんか？	○積極的に行っていく。訪問支援とはどんなものかを知ってもらう。
2			
3			